

【令和6年度】

発達障がいセミナー「知ろう・学ぼう・支えよう」

発達がゆっくりな子どもたちとご家族を支援されている専門職やボランティア、ご家族を対象に、さまざまな療育の専門分野の講師による講座を開講します。連続の講座は毎回内容が異なりますのですべて受講してください。

<対象者> 保育士・教員・児童館職員・児童発達支援及び放課後等デイサービス職員、発達がゆっくりなお子さんの支援に興味のある方、ご家族等（神戸市在住・在勤に限る）。

*A～Fで所属・勤務先等のある方は明記してお申込みください。

*G～Jは専門職を対象にしていますので、必ず所属・勤務先を明記してください。

<受講料> 無料

<定員> 各80人（Iのみ30人）

<会場> こべっこランド3F 研修室（Iのみ2F育成室）

<主催> 神戸市社会福祉協議会 こべっこランド <協力> 神戸市発達障害者支援センター

<講座一覧>

	講座名	講師	日時	受付開始
A	発達が気になる子どもと家族への支援のあり方	神戸市総合療育センター 診療所長 高田 哲 氏	6/8 (土) ① 10:00～12:00 ② 13:00～15:00	5/1 (水)
B	ABA（応用行動分析学）から行動問題を考えよう！	兵庫教育大学大学院教授 井澤 信三 氏	7/13 (土) 13:30～16:30	6/1 (土)
C	発達障がいの特性理解と合理的配慮	大阪教育大学名誉教授 竹田 契一 氏	9/28 (土) 13:30～16:30	8/1 (木)
D	ソーシャルスキルトレーニング（SST）	大阪医科薬科大学LDセンター 西岡 有香 氏	11/9 (土) 13:30～16:30	10/1 (火)
E	神戸市におけるこれからの特別支援教育	特別支援教育相談センター 担当課長 大西 道代 氏	11/16 (土) 10:00～12:00	10/1 (火)
F	TEACCHプログラム	エルムおおさか所長 井上 芳子 氏	① 1/18 (土) ② 1/25 (土) 13:30～16:30	12/1 (日)
G	インリアル・アプローチ ★専門講座	日本インリアル研究会 永安 香 氏 河内 清美 氏 富山 幸恵 氏	① 6/15 (土) ② 6/22 (土) ③ 6/29 (土) 13:30～16:30	5/1 (水)
H	個別支援計画作成 ★専門講座	関西医療大学教授 作業療法士 大歳 太郎 氏	7/6 (土) ① 10:00～12:30 ② 13:30～16:30	6/1 (土)
I	感覚運動 ★専門講座	姫路大学教授 小河 晶子 氏	① 8/30 (土) ② 9/7 (土) ③ 9/14 (土) 14:30～16:30	7/1 (月)
J	言語療法 ★専門講座 ①集団指導 ②個別指導	城陽市立ふたば園園長 言語聴覚士 松尾 育子 氏	① 10/5 (土) ② 10/19 (土) 13:30～16:30	9/1 (日)



A-①② 発達が気になる子どもと家族への支援のあり方

神戸市総合療育センター 診療所長 高田 哲 先生

小児科医として、長年発達障がい診断・治療に携わってこられた講師より、最新の知見と成長に伴うライフステージに沿った支援のあり方をご講義いただきます。診断や検査、薬物治療等の医療的援助について、また食事や睡眠等、日常生活で取り組んでいくべきこと、保護者やきょうだいへの家族支援、地域支援についてのご提言をいただきます。

B ABA（応用行動分析学）から行動問題を考えよう！

兵庫教育大学大学院教授 井澤 信三 先生

応用行動分析学(ABA:Applied Behavior Analysis)は、行動を理解し、支援する上で役に立つ考え方です。基本的には、行動を個人と環境との相互作用から捉えますが、そのABAの考え方の鍵になるのがABC分析です。ABC分析から環境側にいる自分自身ができること（関わり方）は何かを考えていきます。

子どもの行動問題の理解・支援についてわかりやすく解説いただくとともに、実際の支援事例を交えてお話しいただきます。よくある行動問題の事例を基に、具体的な理解と支援についてみんなで考えてみましょう。

C 発達障がいの特性理解と合理的配慮

大阪教育大学名誉教授 大阪医科薬科大学LDセンター顧問 竹田 契一 先生

長年、発達障がい児の教育的支援をされている講師より、LD・ADHD・自閉スペクトラム症の子どもたちへの関わり方と合理的配慮について分かりやすくご講義いただきます。

D ソーシャルスキルトレーニング（SST）

大阪医科薬科大学LDセンター 西岡 有香 先生

ソーシャルスキルとは対人関係に関する知識、対人関係で使う具体的なスキル、それを適切に使いこなす力を指します。ソーシャルスキルは親や大人が教えるしつけと重なる部分もありますが、しつけと同様に、教えても身につけにくい子がいます。学ぶ力が弱い子どもや学び方が違う子どもには、意図して、子どもに合わせた教え方で教えなければ身につけにくいものです。この講義では、まず援助者が対象児についての理解を深め、ニーズを知るところからスタートし、ソーシャルスキルトレーニングの基本を学びます。

E 神戸市におけるこれからの特別支援教育

特別支援教育相談センター担当課長 大西 道代 先生

特別支援教育相談センターや通級指導教室を例に挙げながら、親も子も安心して学校生活を送ることができるよう、小中学校におけるこれからの特別支援教育のあり方について学びます。専門職の方にもぜひ知っていただきたい内容です。

F-①② TEACCHプログラム

エルムおおさか所長 井上 芳子 先生

自閉スペクトラム症の障がい特性に配慮するために開発されたTEACCHプログラムは、場所や時間の構造化（活動しやすい場・分かりやすいスケジュールの提示等）によって、障がい者だけでなく、すべての人々の生活を快適にしています。講義では自閉スペクトラム症の特性から具体的な支援方法、その評価などを多くの資料や視聴覚教材で学んでいきます。

G-①②③ インリアル・アプローチ ★専門講座

奈良県総合医療センター 日本インリアル研究会 永安 香 先生
日本インリアル研究会会長 河内 清美 先生
湯里保育園園長 日本インリアル研究会 富山 幸恵 先生

インリアルは、1974年にアメリカで言語発達遅滞児に対するコミュニケーション・アプローチとして開発されました。子どものかかわりたい、話したいという意欲を支えながらコミュニケーションの力を育てていきます。そのため、かかわる大人は子どもを静かに見守り、行動や気持ちを理解し、子どもの「ことばにならないことば」に耳を傾けながら、子どものレベルに合わせて反応的にかかわることを基本にしています。援助者が子どもにとっての良いコミュニケーターになれることを目指して、具体的な事例をもとにかかわり方の「基本姿勢」やことばかけの「言語心理学的技法」を学びます。

H-①② 個別支援計画作成 ★専門講座

関西医療大学教授 作業療法士 大歳 太郎 先生

療育の現場で援助されている講師による、実際的な個別支援計画作成の講義です。特別支援学校・特別支援学級にも汎用しやすい様式を学びます。

講師から提示された事例をもとに、参加者がグループに分かれて個別支援計画を作成し、グループごとに発表していただきます。個別支援計画を作成した経験のない方もご参加いただけます。

・事例の提示は、発達障がい幼児、学齢児とし、肢体不自由児の事例の提示はありません。

I-①②③ 感覚運動 ★専門講座

姫路大学教授 小河 晶子 先生

感覚統合療法では「前庭覚」という重力と運動に関する感覚と、「固有覚」という筋肉と関節に関する感覚、「触覚」の3つの感覚に注目して刺激をうまくコントロールできるよう指導していきます。運動遊びのなかで、子ども達が「やりたい!」と思う欲求を自然に引き出しながら、神経系の成長をサポートします。

講座は、講義とこべっこランド「感覚運動指導教室」で実際に使用する運動器具を使いながらの実習になります。

・実際に動いていただきますので上靴持参・動きやすい服装でご参加ください。

・3回出席できる方を対象とし、同じ施設からの参加は2名までとさせていただきます。

J-①② 言語療法 ①集団指導 ②個別指導 ★専門講座

城陽市立ふたば園園長 言語聴覚士 松尾 育子 先生

ことばはコミュニケーション、学習、思考、行動コントロール、記憶の道具です。

ふたば園では、就学前の子どもを対象とした療育を行っています。子どもを通して工夫してきた教材や設定のなかから、言語・コミュニケーションに焦点を当てた指導について具体的にご紹介したいと思っています。

道具として使えることばの学習について一緒に考えていきましょう。

修了証について

A～Fの講座を受講された中で4講座(①②となっている講座は両方受講された方のみ)、かつ11時間以上の講義時間を受講された方には、修了証を発行します。修了証については別途ご案内します。

ボランティアの案内について

修了証を受領された方で、発達障がいに関する知識を有するボランティアとして活動を希望される方は、こべっこランド療育サポーターへの登録をご案内します。

